



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2010年5月 No.336
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2009~2010)	
センテニアルクラブ会長	: 『Onward Centennial, again』
東京セントラルクラブ会長	: 『一つとなって Y M C Aへ』
国際会長	: 『一つとなる力』
アジア会長	: 『夢みるアジア、愛するアジア』
西日本区理事	: 『すべてのいのちを大切に』
中西部部長	: 『元気はつらつ中西部』

クラブ役員	Officers
会 長	: 山中 秀男
副会長	: 新保 正秋
書 記	: 石津 雅人
会 計	: 中村 幸枝
メネット会長	: 山中 ちあき
Y連絡職員	: 鍛治田 千文

Biblical Message of May

May Club Meeting

今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。
 (マタイによる福音書6章30節)

『LEADERSHIP TRAINING』

5 月 第 1 例 会

日時：2010年5月19日(水) 18:30~20:30
 場所：ホテルグランヴィア大阪

違いを大切に作る豊かさ

鍛治田 千文

ある小学校に巡回相談に行ったスタッフからの話です。国語の時間、教室の後ろで見ていた時のこと。たどたどしく本読みしている子どもに、「何いってるかわかれへん!」「聞こえへん!!」と同級生から心ない言葉。それにたたみかけるように教師から「早くさっさと読みなさい」。聞いているだけで、心が凍りついてしまうことがあるようです。周りにいる児童の中にもつらくなった子どももいるでしょう。

大阪青年3月号にYMCA学院高校の桜井校長が書いていました。混じりけのない純粋な種でできたパンは固く、そこに異物であるイースト菌をいれると、生地が膨らみ柔らかく芳醇にパンになります。つまり、混じりけがあり、純粋でないほうが豊かになるのです。学校で考えると動機や目的、学力など同じような生徒を集めたほうが楽で、都合がよく、効果的で大学入学などの目標達成がたやすいかもしれせん。でもそれでは神様が望む、豊かで暖かく優しい人の集まりにはならないのです。ともすれば忘れがちになる、違うことも大切であること、違いを大切に作る世の中が豊かである、とありました。YMCAはこのことをいつも大切にしている、実践していると自負しています。小中学校の環境がつかなく、YMCAで再生し、そして社会にでていくとまたそこはとげとげの世界の時もあります。神様が想うあたたかい世の中になるように、YMCAがしなければいけないことはたくさんあります。

(次回は山中秀男さんです)

司会：田中 穰二 君

1. 開会点鐘 山中 秀男 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖句朗読 福永 滋子 君
4. ゲスト・ビジター紹介 山中 秀男 会長
5. 今月の強調活動 福永 嘉彦 君
6. 入会式(高橋裕也君) 山中 秀男 会長
7. 晚餐 一 同
8. 連絡・報告・ニュース
9. 卓話「リーダーの育成~練られた品性を養う」岡村 恒・大阪教会牧師
9. 誕生祝い・ニコニコ献金 一 同
- 10 閉会点鐘 山中 秀男 会長

5 月 第 2 例 会

日時：2010年5月22日(土)13:00~18:00
 場所：京都・桂 山中邸

日程、場所を変更し行いますので、ご注意ください。

5月お誕生日：隅田保メン(3日)

司会者は500円程度のお菓子をゲストの分も含めご用意いたします。

例会担当

2班：坂本、藤原、中村茂、福永、鍛治田の各メン

【クラブ統計 Statistics】

2010年4月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント		ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	12名	9名	4	月	0g
例会出席 14名	メネット	7名	2名	現	金	0円
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	切	手	665g
	ゲ ス ト	10名	2名	現	金	0円
出席率 77.8%	合 計	29名	13名			4月：21,500円
						累 計：200,100円

4 月 第 2 例 会

日 時：2010年4月28日（水）18:00～20:00

場 所：大阪YMCA会館4F

出席者：石津、大村、鍛冶田、谷川、藤原、松浦、三浦、山田
山中の各メン。山村、山中の各メネット。高橋夫妻

報 告

高橋夫妻の入会のオリエンテーションを行いました。
4月例会の報告と反省では講師の話も好評で、時間配分もスムーズでとても良かったとの評価でした。

スペシャルオリンピックスのボランティア講習会の受講申込みを希望者は行いました。

石津さんが、次期西日本区情報委員会委員長に選任。
二科保雄次期理事より委嘱状が届きました。

次期中西部会(9月18日)の進捗状況報告があり、ゲストスピーカーは、畠中さんの紹介で片平敦気象予報士（関西テレビお天気キャスター）にお願いすることとなり、近く会うことになっています。

協議事項

6月例会の卓話は高橋裕也さんに「仕事を通じての社会貢献」について行っていただく事になりました。

今後のスケジュール

5月第2例会は5月22日（土）13:00～18:00に変更して行います。

新保次期会長の年間活動方針、各月役割分担を決めます。
場所：京都・桂 山中邸（会議とポットラックパーティ）

8月納涼例会の日程 IBC交流を考慮し、8月9日～11日の間で行います。

（三浦 直之）

Y M C A ニ ュ ー ス

早天祈祷会

日 時 5月21日(金)7:30～8:30

場 所 大阪YMCA会館チャペル

証 し 榎井智之（土佐堀YMCAスタッフ）

創立記念礼拝

日 時 5月29日（土）13:30～14:15

場 所 大阪YMCA会館チャペル

奨 励 内田望牧師（日本聖公会 川口教会）

会員大会

日 時 5月29日(土)14:30～16:00

場 所 大阪YMCA会館903号室

* 常議員候補として土佐堀YMCAからは新任で岩坂二規、奥田時夫さんが挙がっています。

* 奉仕の書は元職員で表コミボランティア6年目に入りました西村博子さんの名前が挙がっております。ぜひご出席ください。

大阪YMCA国際専門学校 高等課程

表現・コミュニケーション学科/鍛冶田 千文

550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6

Tel 06(6441)1123 Fax 06(6443)7544

新緑に彩られ、気持ちの良い5月、道を歩いていても小さな可愛い野の花を見つけることが出来、このすばらしい自然の創造主を讃美いたします。神様の恵みが豊かに注がれているにもかかわらず、ややもすれば私たちは神様への信仰が薄れていないか、反省をうながされている御言葉だと思います。

何時も共に歩んで下さる主を信頼し、感謝して歩み続けたいと願うものです。

聖句選 コメント：福永 滋子

（次回は、山村利子さんです）

4 月 第 1 例 会

と き：10年4月21日（水）18:30～20:30

ところ：ホテルグランヴィア大阪21階

4月の例会は、なかのしまクラブら10人のたくさんのゲストを迎え、華やいだ雰囲気の中、総勢29人がつどい行われました。本日のメインスピーチは、大阪YMCAとは大変関わりの深い岩坂二規・関学准教授による「二十歳の原点～今を生きる若者の風景」。「二十歳の原点」というと、1969年、鉄道自殺をした高野悦子さんの20歳から自殺するまでの内面の葛藤を描いた日記が父親により本になり、当時多くの若者に読まれましたが、今また若者たちの間で読まれているそうです。



卓話中の岩坂二規氏（後方）

岩坂さんは若者の自死率が高い日本で、もう一度「生きる」ことを社会全体で考えてみよう、大学の国際共働研究ゼミの取り組みとして「二十歳の原点～よし、この自分でいこう」写真展を開催しました。その一部写真の上映があり、また自分を見つめ直す一人ひとりの文章が、ゲストの神崎さんにより読み上げられました。「南京の虐殺問題」や「ストリートチルドレン」、「タイの少数民族」に関心をもち題材として取り上げた学生たちがいました。そこには純粋さゆえ、悩み深い20歳の姿が映し出されていました。

参加者も20歳当時を思い出して書くという課題もあり、最後は、岩坂氏は時代を超え、若い時代の感性は相通じ合えるものがあるとまとめ、しばし我々も遠いなつかしい当時の思い出にふける時間をいただきました。

（中村 茂高）

中東最近事情 その4

目下、トリノ・エジプト展が神戸で開かれています。ナポレオンのエジプト遠征に同行したイタリアの外交官が持ち帰ったおびただしい数のエジプトの秘宝が展示されています。アメン神とツタンカーメンの石像、王族から平民までのミイラ、それを納めた石棺や、木棺。古代エジプトの人々の生活や装束を表す数々の壁画、パピルス、などなど。古代エジプト文明のレベルの高さに驚かされます。最初のピラミッドが完成したのは、なんと紀元前 2500 年でした。(写真右 = ギザのピラミッドとスフィンクス)

イタリア・トリノという一地方都市に、このような立派なエジプト博物館があるのが驚きでしたが、同時に数々の外国の侵略にあった結果、このようにおびただしい数の秘宝が国外に持ち出された悲惨さを感じました。この陳列品から、古代エジプト人の死生観がわかります。数々の多神教の神、太陽神を中心に動物までが神と崇められ、選ばれて神となった人間、動物は、ミイラとして埋葬されます。当時の人々にとって、死後の再生、復活が最大の関心事でした。死後、もう一度、エジプトのナイル川流域に生まれかわることが最大の夢でした。高度の文明を誇った古代エジプトも、最後にローマに滅ぼされ、二度とエジプトが世界の注目を浴びることはありませんでした。(写真下 = トリノ・エジプト展のアメン神とツタンカーメンの像)

現代のエジプト。主だった産業もなく、貧しさにあえいでいます。観光産業が大きな拠りどころです。統計によると、就業者の約3分の1が公的部門で働いているようですが、彼らの給与は低く、従って、大半の公務員が副業をしており、夜にタクシー運転手をしている人が多いそうです。イスラム圏の同国では、妻が働くことは好まれない事情もあるようです。かつて栄華を誇ったこの国も多難です。翻って、世界でGDP第2位を誇った日本も、今年は中国に追い越されます。大幅な財政赤字を抱え、成長が止まったわが国の将来も心配になりました。

(谷川 寛)



Club Activities (April, 2010)

On April 21, the club's April meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 28 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance. We were all happy to see six members of the Nakanoshima Y's Women's Club attending our meeting. Our club hosted its charter 1996 with a full support given by us.

With its emphasis on "YMCA Service and ASF" this month, Y's man KOUJI MATSUURA briefed the purposes and meanings of these programs.

The highlight of the April meeting was a speech made by Mr. NIKI IWASAKA, associated professor of the Kwansai Gakuin University. He spoke about "Young college students, their thinking and behavior, titled "the 20 years of age and their standpoint today."

Showing numbers of their essays and pictures taken by themselves, his analysis is about their dreams, wishes, struggles, friendship and way of living, etc, of the youth from scholastic point of view.

Yen 21,500 was collected for the club's Niko-Niko (smiling) fund.

中西部ホームページ

<http://ys-chuseibu.com/>

大阪センテニアルクラブホームページ

<http://m-ishizu.com/ys/>

ニコニコ・メッセージ
【Messages from the Club Members】

ゲストからのメッセージ

センテニアルクラブの第一例会に出席させて頂ける一年一度の大切な今日、とても有意義な岩坂先生のお話とても楽しく伺えました。普段から若い人と近づく様に思いつつ格差を感じる年代になりました。みんなに引っ張って頂いて何時までも若く元気でいきたいものと心に誓うものがありました。感謝。

(大阪なかのしまクラブ 今井 利子)

久しぶりに親クラブの例会に出席することが出来、有難うございます。私の若い時代を思い出しつつも高齢社会にある昨今ですが、今日は若い人の今を「生きる」について考えることが出来ました。感謝です。(大阪なかのしまクラブ 大岸 弘子)

一年ぶりに出席しました。折鶴も 1200 羽完成してほっこりした気分です。いつも温かく迎えていただいてありがとうございます。(大阪なかのしまクラブ 国友 朝子)

ほんとうに久しぶりに親クラブ、センテニアルクラブに訪問させて頂けて嬉しいです。若い方が増えてキラキラしているセンテニアルは素敵ですネ！私ごとですが 3 月末をもって大学教員としての生活に終止符を打ちました。これからは少し生活のスタイルが変わりますかな？これからもよろしく！！

(大阪なかのしまクラブ 杉浦 真喜子)

去年、合同例会と今日、初めての親クラブの例会、楽しみに寄せていただきました。有難うございました。

(大阪なかのしまクラブ 藤井 弥生)

年に一度だけピジターさせていただきます。なかのしまクラブと違った空気が流れていて新鮮です。重みのある例会でした。

(大阪なかのしまクラブ 吉岡 香代子)

会員からのメッセージ

大勢のなかのしまクラブの皆様のご出席があり大変賑やかで楽しい例会でした。

(石津 雅人)

今日はなかのしまの方もいらっしゃり多くの出会いがありました。

(岡本 剛介)

息子、拓也がこの四月から社会人になりました。うれしい様なさびしい様な...そんな気持ちの四月です。

(坂本 千春)

なかのしまクラブから多数の方の参加ありがとうございました。西日本区大会、国際大会に参加しましょう！！

(坂本 哲朗)

秋月元メネットより使用済み切手を送って頂きました。お元氣な様子で秋月メンが亡くなられてもう12年になると伺いました。一緒に香港やシンガポールの大会など懐かしく思い出しました。

(隅田 恵子)

今回も楽しい例会を有難うございました。

(田中 稔二)

岩坂先生のお話、大学の先生として新しいプレゼンテーションのやり方、大変新鮮でした。感謝！

(谷川 寛)

なかのしまクラブのメンバーのご出席を歓迎します。久しぶりの出合いを嬉しく思いました。

(谷川 有美子)

院の入学式に親として参列しました。今どきの入学式は大阪城ホールでした。

(中村 幸枝)

終戦の翌年が20歳であったことを思い出し数多くの複雑な思いがいろいろと考えさせられました。

(福永 嘉彦)

若者達のお話し映像等でよい勉強をさせていただきました。

(福永 滋子)

大勢のなかのしまの皆様もご出席頂き大変賑やかで楽しい例会でした。年初来少し健康の不安がありワイズ活動にも熱心に取り組めませんでしたが、ここにきて元気を取り戻しこれから元気に活動したいと思っています。

(藤原 正巳)

沢山のゲストが来られ賑やかな例会でした。高野悦子さんの「二十歳の原点」随分前に読みました。いつの時代も変わらない若者の姿を感じました。

(松浦 和子)

岩坂さん有難うございました。「自分の原点」を思い起こしたいと考えます。

(松浦 孝次)

岩坂先生のお話、大変興味がありました。今の若者の心模様が伺えました。

(三浦 直之)

平素同じグランヴィアで例会を持ちながらすれ違いで顔を合わすことの少ない”なかのしま”と”センテニアル”のメンバーと一緒に「時間」を過ごすことができ、「これを気に交流が深くなるのでは.....」等と考えています。

(山田 孝彦)

岩坂二規さんの卓話は現代への警鐘、勉強になりました。

(山中 秀男)



表現・コミュニケーション学科の生徒さんから、「お約束よりも50羽多い1850羽を完成させました」と鍛治田さん。

後記

若葉香るよい季節となりました。

4 月例会では、岩坂二規さんの卓話の中で、紹介された学生たちの海外渡航経験が実に多くなったことに驚きました。また、その感性の豊かさにも触れることができ、まだまだ日本も捨てたものじゃないと思いました。外国がとても遠い存在だった私の学生の頃では、とても考えられないことです。

かつて「ハワイ」(岩波新書)の著者、山中速人・関西学院大学メディア情報学科教授と、芦屋の焼鳥屋で一杯飲んだことがあります。その時、ハワイのカウアイ島に開学の学生を 2 週間連れて行き、日系人のフィールド調査を行っている、という話を聞きました。その事例は 5 千件にものぼるという話に驚いたことがあります。彼は、学生たちが文化や生活環境の違う人たちとコミュニケーションを取り合うことを、自身の体験から奨励をしていました。その時のことを思い出しました。

中東最近事情も 4 回目最終回を迎えました。谷川さんの探究心の旺盛さと高い見識には敬服します。また毎回、寄稿いただき、ブリテンの質の高さを支えていただいたりもしていました。時には、危険な国ではないかと心配もしましたが、その行動力は若者も顔負けです。

なかなかグローバルな視点で物を見ることができない私たちですが、多くの若い人たちが海外に出向き、自分自身を、またこの日本をみつめることの大切さを感じました。

(中村 茂高)